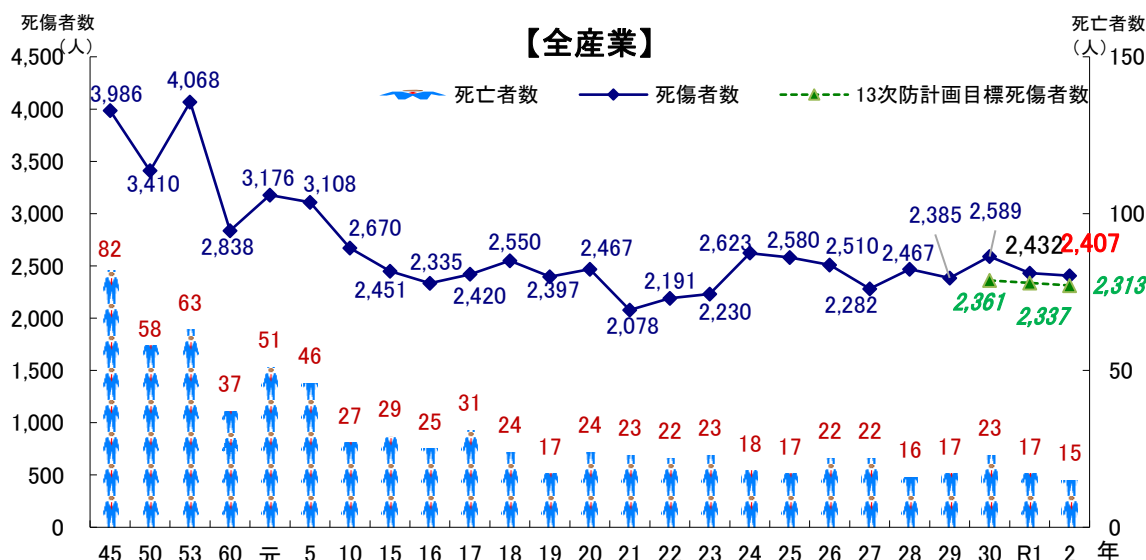
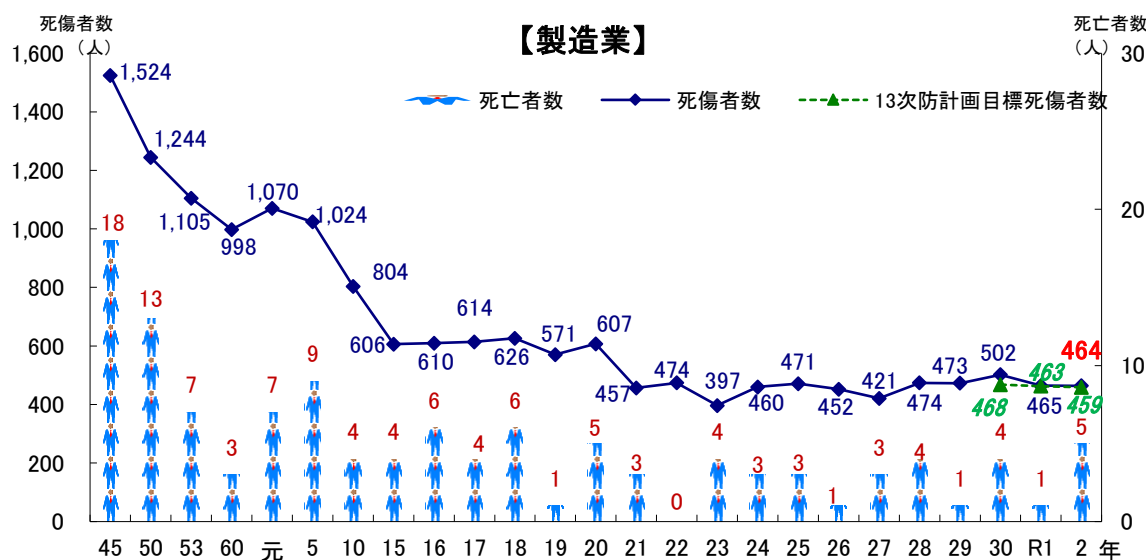


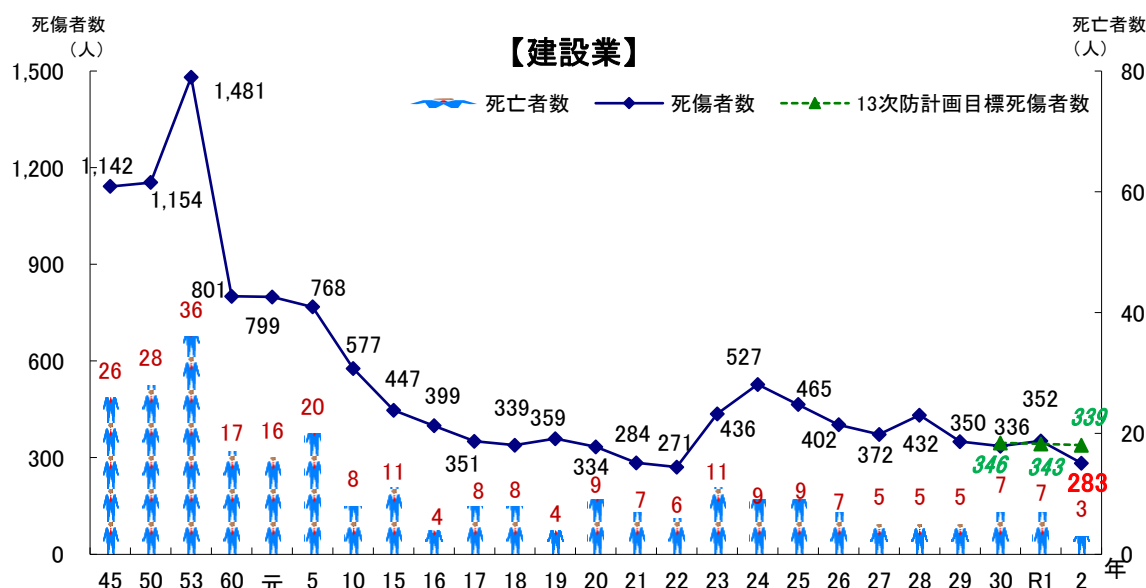
22.労働災害の推移と第13次労働災害防止計画 (平成30年～平成34年)死傷者数



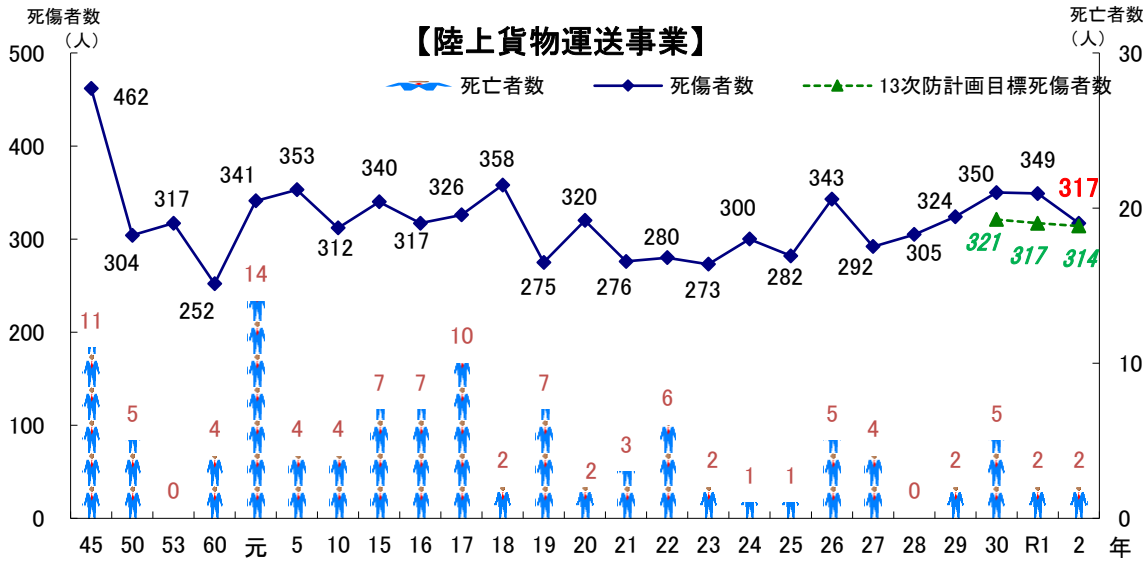
死傷者数は長期的に減少し、平成21年に2,078人と過去最少となったが、東日本大震災以降増加に転じ、平成25年以降は増減を繰り返し、令和2年は2,407人となった。
令和2年の死傷者数は、13次防目標の2,313人を94人上回った。
令和2年の死亡者数は15人(過去最少)となり、13次防目標の15人と同数であった。



死傷者数は長期的に減少し、平成23年には397人と過去最小となったが、その後は横ばいで、令和2年は464人と、13次防目標の459人を5人上回った。
令和2年の死亡者数は5人となり、13次防目標の0人を5人上回った。

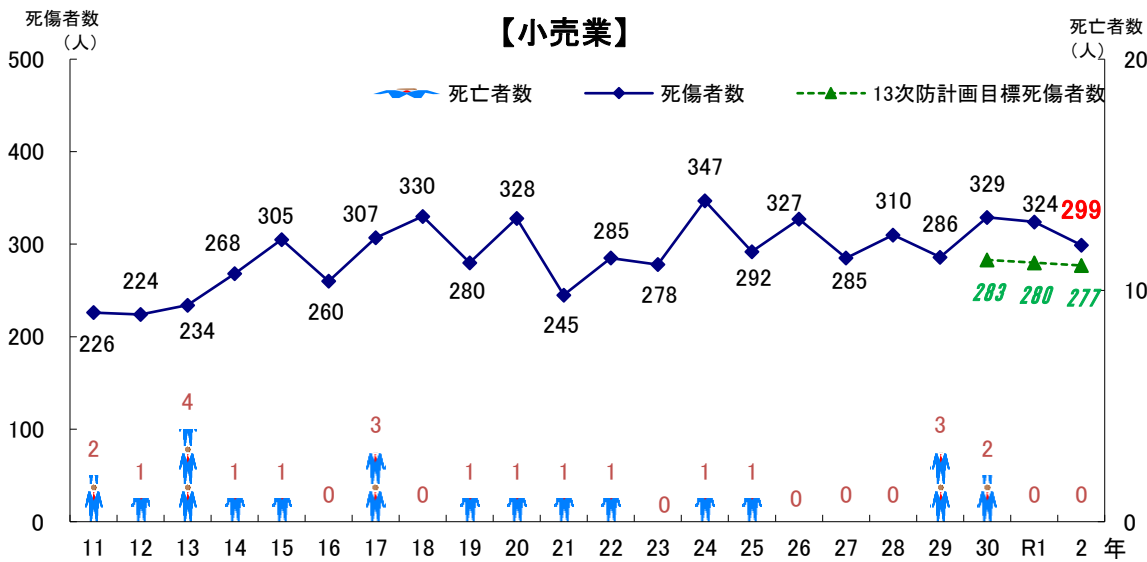


死傷者数は長期的に減少し、平成22年には271人と過去最少になったが、東日本大震災以降、平成24年までに527人まで急増し、その後減少傾向で推移し、令和2年は283人となり13次防目標の339人を56人下回った。
令和2年の死亡者数は3人(過去最少)となり、13次防目標の4人を1人下回った。



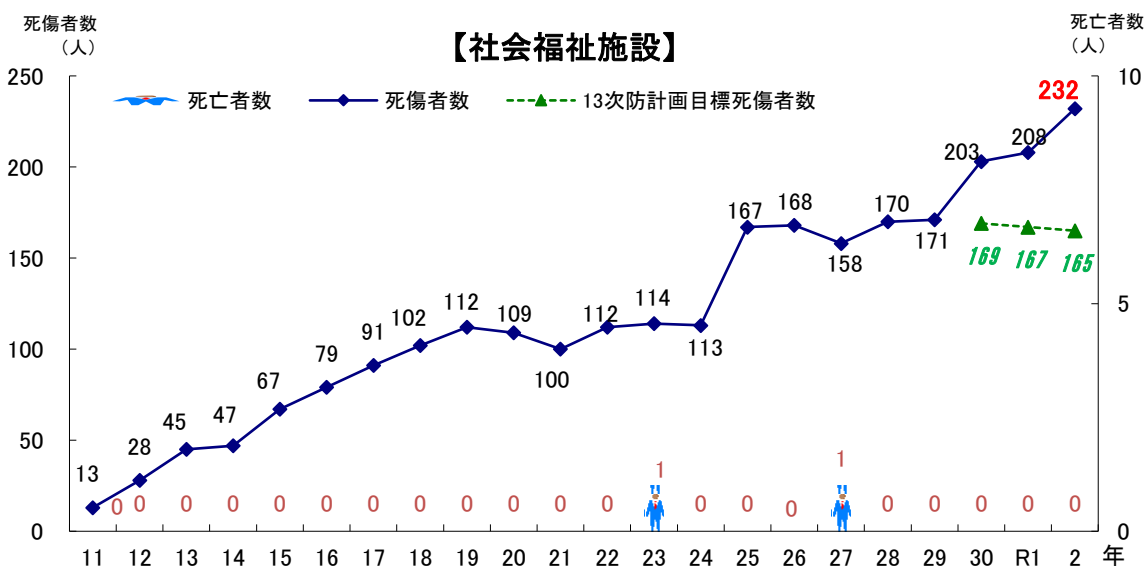
死傷者数は300人前後で増減を繰り返していたところ、令和2年は317人と、平成28年からの増加傾向を減少に転じさせたが、13次防目標の314人を3人上回った。

令和2年の死亡者数は2人となり、13次防目標の1人を1人上回った。



死傷者数は平成15年に300人を超え、その後、300人前後で推移し、令和2年は299人となり、13次防目標の277人を22人上回った。

令和2年の死亡者数は0人となり、13次防目標の2人を2人下回った。



死傷者数は増加の一途で、令和2年は232人となり、13次防目標の165人を67人上回った。

令和2年の死亡者数は0人となり、13次防目標の0人と同数であった。